

(学年) 第1学年, (教科・科目) 公民・現代社会

一斉学習

(単元) 自由に生きる権利

(本時のねらい)

すべての人間が個人として尊重され、個性や才能を發揮していくには、国家からの不当な干渉や妨害を受けない自由権があることを理解させる。また、自由権が侵害された場合、どのような問題が生じるかを考えさせる。

(ICT活用方法)

従来は、学習内容の充実と進度確保を両立させるため教科書準拠ノートを活用し、ノートの該当ページの空欄を埋めるよう語句を板書する、という方法をとってきた。この方法は授業を効率的に進めることができるが、授業者が特に理解させたい内容を分かりやすく説明することが難しい、という課題があった。

そこで、著作権フリーのイラストを用いて説明スライドを作成し、電子黒板に投影することで、視覚的に生徒が自由権の内容を分かりやすく理解できるよう活用した。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・ 前回の学習内容である平等権について振り返る。	・ 両性の本質的平等など、前回の学習内容を確認する。	
展開 30分	・ 自由権について学ぶ。	・ 自由権の種類と、なぜ保障される必要があるのかについて説明する。	・ 日本で自由権が保障されることになった理由やその内容について、電子黒板を使用して説明し、視覚的に分かりやすく理解させる。
まとめ 5分	・ 本時の学習内容を振り返る。	・ 本時の要点をまとめて説明する。	

(授業の様子)



板書とICT



使用したスライド

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

授業の内容をイラストを多用したスライドにまとめたため，生徒からは教科書・ノートだけを利用する授業よりも分かりやすかった，との感想があった。

スライドについては文字が小さくなっている部分があり，生徒から見えにくいところもあった，との声も上がった。これについては，スライドの枚数を増やして文字を大きく表示するなど，工夫する必要がある。